

担当理事制による事業運営のご案内

地球の会では、各事業の更なる活性化を目的とし、担当理事制度を導入しました。業界における共通課題の解決や、各地域で展開する各社の発展に向け、担当理事と事務局がタッグを組み、各事業を加速させていただきます。

会議体	事業	担当者	
本 会 議	第11回「日本の木の家づくり」サミット	安成理事長 宮脇理事 多田理事 曾根理事 井上理事	
	第14回定例総会	大沼理事 横内理事 赤松理事 佐藤理事	
	定例勉強会 ※新規入会セミナー	吉瀬副理事長	
	災害対応緊急本部 ※必要時随時	正副理事長、小山理事	
	ブロック会議 ※第15期より任意開催	次期サミット開催エリア理事	
事 業	イノベーション勉強会 ※15期より適宜開催	永森理事	
	設計セミナー（全6回）	藤井理事	
各 種 委 員 会 等	委員 環境CSV委員会(日本の木の家認証制度)	石橋副理事長	
	員 大工・職人育成委員会(海外旅大工職人さん 日本研修)	大野理事	
	会 採用委員会	相羽理事	
	分 科 会	「生産性向上」分科会	市川会員
		「C S右肩上がり」分科会	池田会員
		「リフォーム事業研究」分科会	三渡理事
	あすなろ会	小野会員	
	木の家 設計・施工フォーラム		
		【東日本・西日本】幹事会 ※年各2回開催	【総括】相羽理事 【東日本】大野理事 【西日本】石橋副理事長
		【東日本・西日本】若手設計者の施工技術スキルアップ研修会	
	【東日本・西日本】建築家会員と工務店会員 交流勉強会		
	会員工務店と会員建築家の事業連携制度		
	木の家づくり事業プロポーザルコンペ		

※情報WEB通信の発信やビルダー会員年次実態調査、森林見学・体験ツアーは、従来通り事務局が中心となり事業運営を行います。



地球の会 Vol.58
NPO法人 環境共棲住宅
2020年5月1日発行
〒530-0022 大阪府北区浪花町1-23 第10新興ビル601
TEL06-6292-8121 FAX06-6292-8122
e-mail:info@chikyunkai.com
http://www.chikyunkai.com
発行責任者：安成 信次

ちきゅうの会通信

新型コロナウイルス感染拡大に伴う 「地球の会」の当面の事業運営について

地球の会では、新型コロナウイルスの感染状況を注視し、会員の皆様の安全を第一に考え、直近の勉強会・イベントの中止・延期等、開催を自粛して参りました。こうした中、日本政府の緊急事態宣言及び新型コロナウイルスの収束地点が見えない現状を鑑み、当面以下の方針で事業運営を行って参ります。国家の有事に際し、会員の皆様におかれましては、事情ご賢察のうえ、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

1. 事業運営方針

地球の会では、事業活動を通じて「**コロナウイルス感染者を出さない、広げない**」ことを原則として、当面、以下の事業運営を行って参ります。

(1) 令和2年5月末までに開催を計画していた事業を延期します。

以下の事業につきましては、全て開催を延期させていただきます。なお、延期後の開催日程につきましては、コロナウイルスの感染状況や社会情勢等を鑑み、改めて関係者で日程を調整の上、会員の皆様にお知らせいたします。

事業名	計画当初の日程	開催地
「第14回イノベーション勉強会×第6回若手設計者の施工技術スキルアップ研修会」合同ツアー	5/19(火)～20(水)	鹿児島
第24回あすなろ会合	5/21(木)	新大阪
第4期分科会 第1回合同会議※	5/22(金)	新大阪
第7回若手設計者の施工技術スキルアップ研修会	5/29(金)	東京

※各分科会の個別会議も同様に開催を延期。但し、各分科会参加メンバーの直接的な接触を伴わないことを前提とし、WEB会議や課題の出題等は、各分科会リーダーの判断により実施することとします。

(2) 令和2年6月以降の事業は1か月前に開催を最終判断します。

勉強会・イベント等について、開催予定日の1か月前に、執行部（正副理事長）にて開催を最終判断いたします。

未曾有の危機に直面し、会員各社におかれましても、非常に難しい舵取りをされていることと推察いたします。このような時だからこそ、ぜひ会員間で強く連携し、地球の会全会員一丸となって、共にこの危機を乗り越えましょう！

地球の会『協力会員 特集』 第八号



株式会社 トーホー

私たちは桧や杉の原木を製材・乾燥し、木材加工販売を生業とする「材木屋」です。

〈弊社主力製品の紹介〉

- 社寺建築などの木質材料の製造販売
⇒ 今までに100ヶ寺以上のお寺神社に弊社が手がけた木材を納めました。その中には、国宝、文化財、お城もあります。
- 住宅の木材 無垢の桧・杉を主とした内装材の販売
⇒ 無垢の木材を仕上げ加工してお届けします。
- 木柵（キマス）を製造販売
⇒ 昨年は、60万個の木柵を製造販売いたしました。

【ヒックス】

無垢階段セットをご案内いたします！

無垢材を階段プレカットしてお届けしますので工期の短縮になります。面倒な側板加工についてはNC加工機で精度の高い正確な加工を行います。材料を持ち込み加工（賃加工）も承ります。

見積りや納品の詳細については、弊社HPをご覧ください。
<URL> ⇒ <http://www.tohowood.co.jp>

【会員へのメッセージ】



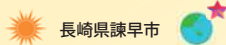
代表取締役 藤井 実 氏

弊社は創業以来、木材の製材及び加工一筋でやって参りました。大切な資源を最後まで無駄なく使うために、豊富な知識と経験を活かし、良質な製品をつくり続けています。

今後、お客様のご要望にお応えし、無垢の桧や杉を中心とした様々な木材をオーダーメイドでご提供します。

株式会社石橋工務店

代表取締役 石橋 光成 氏



長崎県諫早市

『何でもできるは、何もできない』

洗練された
“らしさ”を伝える

<http://www.isibasi-kou-muten.com/>



石橋工務店 社屋

脱・公共工事

「公共工事は運。民間住宅は自分の力です」。
そう話すのは、長崎県諫早の地で大正10年に創業し、来年100周年を迎える石橋工務店の4代目石橋光成社長。石橋社長は大学卒業後、久留米にあるリフォーム会社を経て、24歳の時に石橋工務店に入社。その後、若干33歳で社長に就任する。現在は新築住宅“季節で呼吸する家”を軸に、リフォームやリノベーション、病院等の大型物件を手掛けている石橋工務店。
しかし、現在と10年前とは全く様子が異なるという。
「当時は公共工事を中心に、新築住宅は年1~2棟を手掛ける程度でした。ただ公共工事は、年々厳しくなるばかりで・・・。
やはり民間住宅の力をつけたいと思いき、専務就任後に会社の方向性を大きく転換しました」。

一つに絞る

「公共工事から一般の民間住宅へシフトする際、仕事を増やす

ために、まず自社のホームページを作りました」。
しかし、ホームページ公開当初は全く反応がなかったそうだ。「当時は本当にいろいろなコトを試行錯誤しましたが、まさに四苦八苦の状態でした。ある時ふと、何でもできるでは駄目なのではないか。何か一つに絞らないといけないんじゃないかと思ったんです」。

そこで産まれたキーワードが、石橋社長の志向を象徴する“スタイリッシュ”。「自分が家を建てるなら、スタイリッシュな家を建てたいと思い、このキーワードを軸に、ホームページをガラッと変えました。当社のスタイルを表す情報だけに絞り、それ以外はあえて載せないようにしたんです」。

民間住宅の受注を目的に作成したホームページであるが、このリニューアルを機に、まるで石橋社長の志向に吸い寄せられるかのように、一般のお客様からのお問い合わせのみならず、大工を志望する学生からの応募も来るようになる。「やっぱり絞って正解でした」。



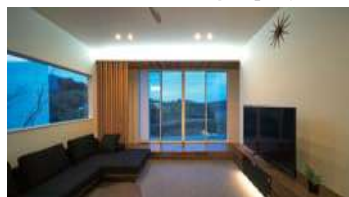
石橋工務店のスタイリッシュモダン『real』（外観）



スタイリッシュモダン『real』外観1



スタイリッシュモダン『4se』外観



スタイリッシュモダン『real』内観1



スタイリッシュモダン『real』外観2



スタイリッシュモダン『real』内観2

お客様との接点 “石橋工務店杯”

現在ではホームページに留まらず、テレビCMでも同様に、広告・プロモーションとリクルーティングを兼ねたブランド展開を図る石橋工務店。他に、こんな面白い試みも行っている。
「当社では色々なイベントを行っています。例えば、小学生を対象にしたU-10サッカーフェスティバル“石橋工務店杯”を主催しています」。特筆すべきは、小学5・6年生ではない、小学4年生以下を対象としている点である。「一般的なサッカー大会だとレギュラーは5・6年生ですが、この大会は4年生以下がレギュラーとして出場する大会です。実はこの4年生以下のお子孙がいらっしゃるご家庭が当社のターゲット層なんです」。ラジオの活用効果もあり、毎回100チーム、千数百人が出場する石橋工務店杯。
サッカー部出身の石橋社長ならではの着眼点である。「他にも5時間リレーマラソンや42.195kmを歩くウルトラウォーキングなど、地域のイベントには積極的に協賛していますね」。

暮らし発信基地“ROUTE 34 FURNITURE”

広告・プロモーションを通じて

洗練された“石橋工務店のらしさ”を、的確にターゲット層に伝えている石橋工務店。

そんな石橋工務店では、令和元年10月に家具やインテリア、照明からデザインパーツまで幅広く取り扱う“ROUTE 34 FURNITURE”を、オープンする。店内には、時間と共に愛着を育てるこだわりの家具・インテリアや雑貨。さらには、フェアトレード*のお菓子類までもが並び、石橋工務店のこだわりとらしさが随所に光っている。「実はお客さま宅を訪問した際に大きなショックを受けたことが、このお店のオープンのきっかけなんです。これまでなかなか家具までご提案できていなかったんですが、実際にお客様が新築の住宅に入れられた家具を拝見して愕然としたことが何度もありました。家の内観と家具がマッチしていないことがあったのです。その時に、住空間のご提案まで私たちがしっかりしなくてはならないと強く思いました」。

家づくりに留まらず、住空間や日々の暮らしも含めてご提案したいという石橋社長の想いが“ROUTE 34 FURNITURE”に宿っている。
「“ROUTE 34 FURNITURE”を通じて、既存のお客様には家具などを通して暮らしを、家具

などを目的に来店されるお客様にはリフォームやリノベーションのご提案をしていきたいですね」。

※フェアトレード

発展途上国で作られた作物や製品を適正な価格で継続的に取引することによって、生産者の持続的な生活向上を支える仕組み。

健康的で洗練された暮らしデザイン

そんな石橋社長にこれからの目標と課題を聞いた。

「当社では日本の伝統建築と現代のテクノロジーを融合した夏涼しく、冬温かいエコハウス“季節で呼吸する家”を展開しています。この家を通じて、県内の皆さまを幸せにするNo.1工務店になることが私の目標です。そのために、健康や環境に優しい家の良さに、デザイン要素を加えていかにお客様に分かりやすくお伝えしていくかが今後の課題です」。

公共工事から新築住宅へシフトし、自社の“らしさ”を洗練させながら、お客さまや大工志望の学生との接点も同時進行で築き上げてきた石橋工務店。創業100周年を前に、今、石橋工務店は次の挑戦の渦中にある。

『海外の旅大工職人さん 日本研修』 取材レポート

海外と日本の職人（技術・ノウハウ）交流を目的として開催している、地球の会主催「海外旅大工職人さん 日本研修」。

昨年末より約3か月間研修を受けられたジーモンさん（石橋工務店様受け入れ）と、マイケルさん（安成工務店様受け入れ）。お二方に本研修についてお話をうかがいましたのでご紹介します。

■ 旅大工職人PROFILE No.01 ■

ジーモン ポッペ
 氏名： Simon Pöppeさん
 国籍： ドイツ
 年齢： 28歳
 性別： 男性

<受け入れ工務店>
 長崎 (株)石橋工務店



今回どのような目的で研修に参加されましたか？

地球の会のホームページを拝見し、日本の一般建築の大工仕事を体験したいと思い参加しました。



実際に研修を受けられてみていかがでしたか？

日本建築の種類の多さがとても印象的でしたね。仕事の仕方や日本文化など、皆さんから新しいことをたくさん学ぶことができ、とても参考になりました。



現場での仕事で困ったことはありませんでしたか？

作業の説明を聞いていて、どうしても分からないことがありました。ただ、柱に番号や平仮名が書いてあるので、どの列に置いたらよいか分かり、本当に助かりました。



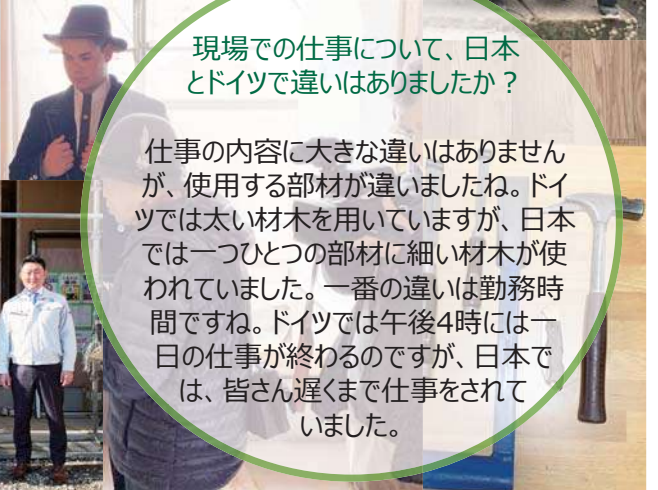
今回研修を受け入れてくださった石橋工務店様へメッセージをお願いします。

初日から信頼できるユーモアにあふれた仕事仲間に出会え、とても良い環境の中で仕事ことができました。石橋工務店の一員であったことに大変誇りを感じています。日本で過ごした日々を決して忘れることはありません。皆さん、どうかお変わりなくお過ごしください。



現場での仕事について、日本とドイツで違いはありましたか？

仕事の内容に大きな違いはありませんが、使用する部材が違いましたね。ドイツでは太い材木を用いていますが、日本では一つひとつの部材に細い材木が使われていました。一番の違いは勤務時間ですね。ドイツでは午後4時には一日の仕事が終わるのですが、日本では、皆さん遅くまで仕事をされていました。



『海外の旅大工職人さん 日本研修』取材レポート

■ 旅大工職人PROFILE No.02 ■

マイケル ガンダースワイラー
 氏名： Michael Guntersweilerさん
 国籍： スイス
 年齢： 24歳
 性別： 男性

<受け入れ工務店>
 山口 (株)安成工務店



今回の研修をどのようにしてお知りになりましたか？

自国の大工協会を通じて知りました。日本の建築や装飾、大工の働き方について学び、日本の人々と知り合いになりたいと思い、今回の研修に参加させていただきました。

現場での仕事について、日本とスイスで違いはありましたか？

住宅の構造に違いはありましたが、ヨーロッパと日本の作業プロセスは似ている部分も多かったですね。一番の違いは、現場が非常に清潔であること。スイスでは、清掃を週1回しかしませんので本当に驚きました。

研修はいかがでしたか？

建築現場で皆がお互いに尊敬の念を持って接していたことが、とても印象的でした。海外の建築現場では意外に見逃されがちな部分です。現場で作業をするにあたり、多少の言葉の壁はありましたが、直ぐに解決できました。何よりお互いの体験を分かち合えたことが良かったですね。

現場での仕事で、印象に残ったことは何ですか？

とにかく日本の大工さんは、仕事が正確で緻密だと感じました。他にも印象に残ったことはたくさんありますが、特に私が気に入ったのは、屋根で集めた太陽の熱を利用して、床から暖かい空気を放出するというアイデアですね。省エネルギーで家を暖かく保つこのアイデアは、ヨーロッパでも助けになると思います。

今回研修を受け入れてくださった安成工務店様へメッセージをお願いします。

素敵なデザインと通気性のある家。私は安成工務店をとても好きになりました。木材がどのように加工され、断熱材がどのように作られるのかについて洞察が得られたことは私の財産です。何より安成工務店のチームの一員に迎えていただけたことをとても嬉しく思います。皆さんどうかお幸せに！

若い旅大工職人が世界を旅しながら技術を学ぶ伝統的的制度「ヴァルツ（旅職人）」。
 様々な制約^{※1}がある中で、伝統的な衣装^{※2}を纏い、自らの意思で世界の大工現場に身を置く彼らからは、大きな自信と誇りが溢れていました。

- ※1 旅職人は修行期間中（3年と1日）、家から半径50km内の立ち入り禁止、PCやスマートフォンなどの通信手段の携帯禁止という伝統的な制約の元で、世界を旅しています。
- ※2 伝統的な衣装について、ジャケットの6個のボタンには週6日働く、ベストのボタン8個には1日8時間働くというヴァルツのアイデンティティが込められています。

地球の会では、今後も本研修を継続して実施。文化も枠組みも違う海外の旅大工職人と日本の職人の交流を通じて、互いの国の木造建築技術やノウハウを学び合い、共に発展していくこと、さらには大工の職業意識向上を目指します。

地域と共に、世界に誇れる住文化の創造